

はじめに



町会・自治会などの地縁団体は、防災・防犯活動や地域の見守りなど、地域の安全・安心の確保や魅力ある地域づくりに大きな役割を果たしています。住民を結ぶ共助の中心として地域にとって欠かせない存在ですが、近年は担い手の高齢化や加入率の低下といった課題を抱えています。

さらにコロナ禍によって、季節の行事などの町会・自治会の活動が困難になり、地域のつながりがますます希薄化することが懸念されているところです。

しかし、こうした状況においても「今できることは何か」を懸命に考えて取り組んでいる町会・自治会は数多くあり、東京の地域の未来を考える上で大変心強い存在です。

また、地域住民による助け合いに加え、町会・自治会が地域の様々な組織とのネットワークを構築し、協力して事業を進めている事例も見られます。町会・自治会と企業や教育機関、NPOやボランティアなどが協働し、新たなつながりを創出することで、町会・自治会の支え合いの機能がさらに強化されると考えられます。

このたび、町会・自治会がそうした多様な主体との協働によって課題を解決した先行事例を広く調査し、協働に至った背景や、協働で取り組む過程で直面した問題とその解決方法などをまとめました。

地域コミュニティの活性化に向けて、新たな支え合いの形を目指す町会・自治会のみならず、その取組をサポートする自治体や、地元への貢献を考えている地域の方にとって、この事例調査が一助となれば幸いです。

最後に、お忙しい中、取材にご協力いただいた町会・自治会や協働先の企業、団体、NPOの皆様、事例収集にご協力いただいた学識経験者および有識者の皆様に厚く御礼申し上げます。

2022（令和4）年3月
一般財団法人東京都つながり創生財団

